

第2回 シティ・ライツ (City Lights) 映画祭

“ 夢、信じる心～チャレンジすれば何かが変わる！ ”

< 映画祭の趣旨 >

目が見えなくなり、映画鑑賞をあきらめてしまった視覚障害者の方々にも、共に楽しんでいただけるよう、音声ガイド(※)を映画に挿入する「バリアフリー映画祭」です。作品選定から当日の運営まで、視覚障害者と共につくりあげていく、舞台裏の活動もバリアフリーな映画祭です。

それぞれの障害を乗り越えながら、映画の感動をすべての人々に伝え、分かち合い、そしてその感動を共有する新鮮な喜びを、バリアフリー映画祭を通して体験していただこうと考えています。

また映画などの文化・芸術鑑賞を切望する視覚障害者に対し、音声ガイドによる映画鑑賞会を行うシティ・ライツの活動について多くの人々に知っていただき、今、必要なことは何なのか、私たちにできることは何なのかを、共に考えていきかけとしていきます。

私たちの夢。

それは、いつでもだれでも当たり前前に立ち寄れる、バリアフリー映画館づくり
その実現に向けて踏み出した第1歩がCity Lights 映画祭です。

※音声ガイド 映像の視覚情報(場面転換や人物の動き、表情、情景など)を言葉におきかえて説明する場面解説のナレーション。FMラジオにより、誰でも聴くことができます。



「マルタのやさしい刺繍」/外国(スイス)映画(今回上映)



「ザ・マジックアワー」/日本映画(今回上映)

バリアフリー映画鑑賞推進団体 シティ・ライツ (City Lights正式名称) の概要

「目の不自由な方々と共に映画鑑賞を楽しむことのできる環境づくり」を目的に、2001年4月より、東京を拠点に活動を続けてきたボランティア団体です。」

[団体会員数] 正会員 207名 賛助会員 30名

- [主な活動内容]
- ・ 映画の視覚情報を言葉で説明する「音声ガイド」の研究・制作、上映会での発表
 - ・ 劇場公開映画を視覚障害者と共に観に行く「シアター同行鑑賞会」の開催
 - ・ 映画情報のサポート
 - ・ その他PR活動

CityLights

2009

● 映画祭の 実施概要

- イベント名 : 第2回シティ・ライツ映画祭 “ 夢、信じる心～チャレンジすれば何かが変わる！ ”
- 主 催 : バリアフリー映画鑑賞推進団体 シティ・ライツ
- 後 援 : 東京都、スイス大使館、社会福祉法人日本点字図書館、 社会福祉法人日本ライトハウス、
社会福祉法人東京ヘレン・ケラー協会
- イベント協賛 : 日本映像翻訳アカデミー、財団法人 川喜多記念映画文化財団、花王株式会社、
花王ハートポケット倶楽部、クラブツーリズム株式会社・バリアフリー旅行センター、
フコク生命、マイクロソフト株式会社、ライオン株式会社
- 広告協賛 : 株式会社日立ビルシステム、松竹株式会社、NTTクラリティ株式会社、
有限会社読書工房、株式会社ラビット、アットエンタテインメント株式会社、
株式会社ポニーキャニオン、東映ビデオ株式会社、RFデザイン株式会社、
有限会社シネマエンジェル、株式会社ケイメイ医療事業部、株式会社高知システム開発、
有限会社オフィスコア、株式会社日本インシフィル、映画「こんばんは」全国上映普及委員会、
有限会社アットイーズ、映画センター全国連絡会議、ライオン株式会社、株式会社NTTドコモ
有限会社コミュニケーションコア・ワークス、社会福祉法人日本点字図書館、
ケージーエス株式会社、株式会社ナレッジクリエーション、サンクステンプ株式会社
- 個人協賛 : 個人6名、店舗1店
- その他協賛 : スイス法人リンツ社(総輸入元六甲バター株式会社)
- 助 成 : 日本財団
- 協 力 : 千葉大学大学院 工学研究科 デザイン科学専攻、
日本ユニシスグループ・社会貢献クラブ「ユニハート」
- 会 場 : 江戸東京博物館 大ホール (墨田区) ※ 大ホール 定員数 449名
- 日 程 : 2009年5月5日(火曜日/祝日)
- 入 場 料 : 1作品 500円 (2作品上映)
- プログラム : 12:00～ 開場
13:00～ 「マルタのやさしい刺繍」／外国(スイス)映画上映
＝休憩＝
15:20～ トークセッション 「バリアフリー映画から広がる新しいコミュニティの可能性」
(ゲスト) 中江 裕司監督
15:50～ 「ザ・マジックアワー」／日本映画上映
18:00～ 閉演

◇ 映画祭入場者概要

入場者総数 512名 (その内 視覚障害者 120人)

- ・「マルタのやさしい刺繍」鑑賞者 410名
- ・「ザ・マジックアワー」鑑賞者 336名

CityLights

2009

◇ 参加者の声(アンケートより)

□ 会員、音声ガイドは10回以上、50代、視覚障害者(全盲)の回答

・全体について

私たちに映画とか、娯楽や趣味などに楽しみを増やしてくれている事、深く感謝をいたしております。こうして映画などを楽しめるのも、活動してくれている皆さんのお陰、そして理解が無ければ楽しめないと思います。映画祭も末永く続く事を祈っています。

□ ポスターをみて、音声ガイドは10回程度、60代、視覚障害者(弱視)の回答

・音声ガイドについて

すごくきれいに声が入ってよくわかりました。

□ 知人の紹介、音声ガイドは初めて、40代、晴眼者の回答

・音声ガイドについて

全体としてムダも不足もないと思いました。短い言葉で全体をうまく表現するのは難しいことと感心しました。

・全体について

こういう映画祭を初めて知りました。大変良い事と思います。

□ 映画館のチラシで知って、音声ガイドは初めて、20代、晴眼者の回答

・全体について

偶然にもこのようなイベントに参加できて良かったです。

□ 知人の紹介、音声ガイドは初めて、50代、晴眼者の回答

・音声ガイドについて

ときどき目を閉じて映画を初めて聴きました。「耳をすまして感じる」・・・楽しい体験でした。

・全体について

これからのシティライツの皆様のご活躍を楽しみにしています。この会場で初めてご一緒させていただいた方とお話しながら見せていただきました。元気のでる映画祭でした。

□ 関係者の招待、音声ガイドは初めて、40代、社会人、晴眼者の回答

・音声ガイドについて

初めての体験で、邪魔になるのではと思いましたが、映像を観ているだけでは見逃してしまう意味のあるシーンや伏線などがわかって、とてもおもしろかったです。

□ 知人の紹介、音声ガイドは初めて、30代、社会人、晴眼者の回答

・音声ガイドについて

適度なところでナレーションが入り、普通の映画を見ている程、違和感がなかったです。

□ 知人の紹介、音声ガイドは10回程度、40代、社会人、晴眼者の回答

・全体について

2本の映画とも、とても元気の出る内容で、励まされ、笑い、何か新しくやってやろう！という気持ちになれた気がします。また、トークセッションの監督のお話もほとんど共感することばかりで、「本当にそうだなあ」と思いました。

— その他 —

□ 日本映像翻訳アカデミーの方から

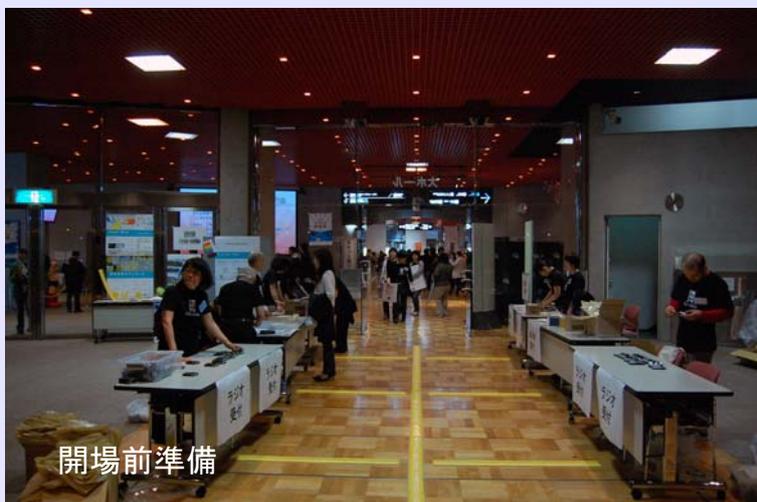
大変素晴らしい映画祭で、感動いたしました。構成もトークショーもシティライツならではの色を出しつつ本当の意味で皆と一緒に楽しむことができぬモノでした。また、スタッフで働いている方々が素晴らしい！笑顔あふれて生き活きと、堂々と仕事をされている姿がとても印象的でした。

□ 横浜市民ギャラリーあざみ野(横浜市芸術文化振興財団)の方から

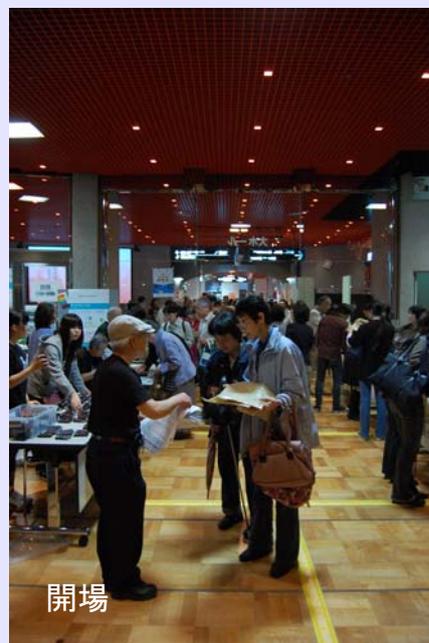
映画自体もとても面白かったのですが、映画を心からたのしみたいと思う人たちがあの場集っているという状況がとても気持ちを暖かくさせました。いつも映画を見ているときよりもよく笑ったなあ、と思います。一場面一場面で喜怒哀楽を共有している一体感がありました。『ニューシネマパラダイス』などの、映画の出始めの頃、皆が肩を寄せひしめき合いながら映画を見ていた頃のような一体感を思い浮かべました。本当によい取り組みだと思います。

ラジオの調子も問題なかったです。映画冒頭のところで音声が途切れたような感じがしましたがそのほかは全く。ガイド&字幕の量も、読み上げるスピードも、よく練り上げられたものだということがよく分かる内容でした。

◇ 写真



開場前準備



開場



開場受付



ラジオ配布



ラジオ配布

◇ 写真



◇ 収支報告(日本財団助成金事業分を除く)

支出 (円)		収入 (円)	
項目	決算額	項目	決算額
上映費 会場使用料 会場設備使用料 映写技師料 フィルム使用料	539,990	チケット売り上げ	256,000
印刷費 チラシ パンフレット チケット ポスター デザイン料	205,488	協賛金 イベント協賛 広告協賛 個人協賛 募金箱	1,015,139
音声ガイド制作経費 字幕朗読 ナレーション コピー代 スタジオ使用料	61,640	物品販売	29,000
イベント制作費 トークセッション経費 メイキングビデオ 司会謝金 誘導シート制作費	208,094	映画祭活動費 (当団体拠出費)	91,985
宣伝費 バナー広告料	7,875		
通信・発送費 通信費 発送費	52,770		
交通費 交通費	23,380		
雑費 弁当代 消耗品代 コピー代 他	292,887		
合計	1,392,124	合計	1,392,124

※ 上記決算金は、日本財団助成金により購入したラジオ等整備費は除く。
当助成金事業分は次ページによる。

◇ 収支報告（バリアフリー映画祭の開催に向けた通信機器整備 / 日本財団助成事業）

支出（円）		収入（円）	
項目	決算額	項目	決算額
受信機(ラジオ) 100機	787,500	日本財団助成金	1,000,000
音訳版CD/DVD高 速コピー機 1台	135,155	団体自己負担金	105,258
点字テプラ 1機	28,770		
ポータブルレコーダー 4機	81,468		
マイクロホン 8本	72,365		
合計	1,105,258	合計	1,105,258